

北極域実践コミュニティ

VOICES from the ARCTIC

Vol.16 2022.11.18

ArCS II 国際政治課題 北極域実践コミュニティ事務局

ドイツ海軍 ノルウェーの 石油掘削装置とパイプライン 保護に協力

ドイツ海軍はノルウェーの石油掘削装置、海底ケーブル、パイプラインなどの重要な海上インフラの保護に協力しており、デンマークとスウェーデンの海岸でも同様のことを行う準備ができていると、トップが語った。北極圏でロシアと国境を接するノルウェーは、ヨーロッパ最大の天然ガスと石油の生産国であり、非常に長い海岸を有するため、その保護が難しい。また、ノルウェーと英国や欧州を結ぶパイプラインの広大なネットワークを運営している。

記事参照：German navy helping Norway protect oil rigs, pipelines - ArcticToday (2022.11.3/Arctic Today)



オタワ州、イヌイット健康研究ネットワークに640万ドルを拠出すると発表



連邦政府の保健大臣Jean-Yves Duclosは、イヌイット健康研究ネットワークのために、新たに640万ドルをInuit Tapiriit Kanatami（イヌイット・カナダ連合協会）に提供すると発表した。イヌイット・ヌナンガット全域のイヌイットの代表組織であるITKは、研究におけるイヌイットの自己決定の改善を目指す「研究に関するイヌイット国家戦略」のために資金を受け取ると、Duclosは述べている。

記事参照：Ottawa announces \$6.4 million for Inuit health research network - ArcticToday (2022.11.3/Arctic Today)

←Chief of the German Navy Jan Christian Kaack and Chief of the German Air Force Ingo Gerhartz pose with German soldiers and members of the CBRN unit, during the Baltic Tiger 2022 binational military exercise, which is a contribution at NATO's eastern flank, at the harbour in Tallinn, Estonia on October 24, 2022. (Lisi Niesner / Reuters File Photo)

サニキルアックの燃料不足解消



新しい燃料がカナダのヌナブト準州に位置するサニキルアックに到着した。ハドソンベイのダニエル・カビク氏がヌナツィアックニュースに語ったところによると、この荷物は日曜日に到着した。このコミュニティは、10月19日以来、燃料不足に見舞われ、人々は供給量の減少を余儀なくされていた。地域社会・政府サービス相のDavid Joanasie氏は、同様の事態が二度と起こらないよう、準州の石油製品部門が業務を評価すると回答した。

記事参照：A fresh shipment ends Sanikiluaq's fuel shortage - ArcticToday (2022.11.1/Arctic Today)



Heavy loads carrier Xin Guang Hua sails through Kola Bay to Novatek's Belokamenka LNG Construction Center. (The Independent Barents Observer)

中国最大の重量物運搬船がコラ湾に出港

ロシア・ムルマンスクの人たちは、大きな船や賑やかな船旅には慣れている。しかし、10月18日にコラ湾に入港した「Xin Guang Hua」は、おそらく人々の注目を浴びたことだろう。その大きな船には、大きな集合住宅に匹敵する大きさの産業用モジュールが積まれていた。

記事参照：China's biggest heavy-lift carrier sails into Kola Bay - ArcticToday (2022.11.2/Arctic Today)

NASAの気候経年変化図 1880年代以降、地球がどれだけ変化したかを示す



化石燃料の使用を大幅に削減。森林を育て、肉食を減らす。これらは、地球温暖化を産業革命以前の気温より1.5度まで抑制するために、この10年間に必要な行動のほんの一部であると、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が報告書を2022年4月4日に発表した。1990年以降、IPCCが気候変動の警告を出したにもかかわらず、世界の温室効果ガス排出量はこの10年間で増え続け、史上最高を記録した。

記事参照：NASA's climate time machine shows how much the planet has changed since the 1880s - ArcticToday (2022.11.4/Arctic Today)

イヌイット文化を祝うため 数百人の人々がオタワに集る



11月7日は国際イヌイットデー。約300人の人々がオタワのアニー・プートウグック公園に集まり、イヌイット文化の年次祭典を祝った。Isaruit Inuit Artsグループとオタワ市の協力により、パフォーマンス、アート・ベンダー、イヌイットの伝統的な競技が行われ、コミュニティのごちそうがダウンタウンの公園に持ち込まれた。

記事参照：Hundreds gather in Ottawa to celebrate Inuit culture - ArcticToday (2022.11.7/Arctic Today)



Nunavut Sivuniksavut student Nivi Rosing, originally from Nuuk, Greenland, addresses the crowd at International Inuit Day celebrations in Ottawa's Annie Pootoogook Park on Sunday. (Madalyn Howitt / Nunatsiaq News)

北極の夏の海氷の消失は30年以内に「不可避」と報告書



発表された報告書によると、気候変動は急速に世界の氷で覆われた地域を溶かしており、夏の北極海の海氷は2050年までに消滅することが確実視されている。今年に限って言えば、3月に東南極大陸で雨が降ったが、これは気温が異常に高かったためである。夏の間、アルプス山脈の氷は5%減少した。また、9月にはグリーンランドがその時期の融解量として新記録を樹立したと、国際雪氷圏気候イニシアチブ研究ネットワークによる報告書は述べている。

記事参照：Loss of Arctic summer sea ice 'inevitable' within 30 years, report says - ArcticToday (2022.11.7/Arctic Today)



Pieces of floating ice with polar bear footprints on them are seen from the Greenpeace's Arctic Sunrise ship at the Arctic Ocean on September 14, 2020. (Natalie Thomas / Reuters File Photo)

『北極域実践コミュニティ VOICES from the ARCTIC』は、北極域実践コミュニティの情報発信の活動の一環として、北極域の多岐にわたる社会的課題やその解決に向けた取組に関連するニュースを集めて、ダイジェストしたものです。北極域の社会的課題と世界的な課題との関連性を示すため、国際連合『持続可能な開発目標（SDGs）』の17の目標との対応関係を各ニュースに付しています。今回のVol.16は、2022年11月のニュースを掲載しています。



Arctic Challenge for Sustainability I

